

柏原市議会議員

いざない、かしこく活カのある柏原市を作りたい、めざすのはスマートシティ柏原

かし わら りょく

山口ゆか 柏原力UP↑

Vol.11
31年冬号

9月12月議会&活動報告書

日頃の活動報告はブログ [Facebook](#) [Twitter](#) で配信中
議会の動画は [YouTube](#) 「柏原市議会」で検索

9月の決算審議で市立柏原病院事業会計不認定

平成 29 年度決算は 2 億 2600 万円の経常損失となり、資金不足比率が昨年度の 4.8%から 17.3%と上昇しました。20%を超えると経営健全化団体になります。現状のままでは経営改善が見込めない状況であると判断し、29 年度の病院会計は決算不認定としました。

9 月議会の代表質問で、私は一番の問題は柏原市民の病院であるのに、市民が柏原病院に行かないことだと提起しました。つまり、**市民が望む病院**になっていないのではないかと感じます。まずは**マーケティング調査**をしてニーズを掴まなければいつまでも病院の経営改善は見込めないのではないのでしょうか。

不認定を受け、柏原病院は収支改善に向けた取り組みとして、地域包括ケア病棟の開設及び緩和ケア病棟の増床などの計画を示されました。病棟編成に伴い、人間ドックセンターが廃止（人間ドックは継続）されるなど大きく転換される計画です。

しかし、未だに病院への苦言が私のところに届きます。まだまだ**市民ニーズとはズレがある**のではないかと感じます。本当に取りかかるべきは、病院側の心構えなのかもしれません。これまで病院経営について議会で何度も議論していますが、今後もしっかりとチェックしてまいります。

9月議会代表質問 自然災害対策（地震、豪雨、台風）

平成 30 年は大阪北部地震、西日本豪雨、台風 21 号、北海道胆振東部地震など様々な自然災害が多く発生し、柏原市では台風による暴風であちこちに被害が出ました。その中でも停電による影響は大きく、一部地域で上下水道が使えなくなるなどの支障が出ました。今後の課題も含め、危機管理の面で4点質問をしました。

◇災害時の上下水道の影響と対応

停電が長期化したり、大地震などが広範囲に及んだ場合は？

長期停電時の上水道 市→浄水場の自家発電や他団体への給水車支援要請	大地震時の上水道 市→5か所配水池に応急給水拠点を設置、日本水道協会に支援要請	長期停電、大地震時の下水道 市→大阪府へ支援要請、日本下水道管路管理業協会との復旧支援協定締結を検討
---	---	--

給水場所など市民への周知対策は？
市→Webで広報、広報車巡回、屋外スピーカー、区長へお知らせ等、状況に応じて情報提供を行う。

停電している時にはデジタル発信ができない。アナログな方法も想定し、被害規模、状況を場合分けして今の段階からマニュアル化しておくことが重要である。

◇災害時の空家の問題

特定空家に指定されていないもので倒壊等の緊急性があるときは？
市→まず所有者を調査し、指導文書や注意喚起文書を送付。

緊急時の対応策として予め所有者と何らかの取り決めはできないか？
市→現在は所有者から問い合わせがあった時に連絡先を把握できる状況。今後の方策は調査研究をしていく。

◇避難所の運営

避難所の運営マニュアルの作成状況は？

市→平成 28 年に職員向けのマニュアルを作成。玉手山学園と協働で避難所支援員養成講座の開発に取り組んでおり、最終的にはマニュアル化していく。

他市では職員向けではなく、実際に避難所運営を担う自主防災組織や避難所の方々を対象に運営マニュアルを作成している。実際の**避難者の運営の手法や役割**などを具体的にまとめ、実態に即した避難所マニュアルの作成を。

◇災害時の行政の情報発信

地域ごとに細分化して必要な情報を必要な地域に発信できないか？

市→エリアメールは無償で通信事業者に提供してもらっているため技術的にも困難と聞いている。緊急性のある情報は広範囲な情報発信に重点を置いている。屋外スピーカーは個別運用を行っている。

学力向上モデルを

同じ生徒が小6、中3と学力テストを受けて結果を比較したとき点数が上がっている学校の取組内容は？

市→幼少中一貫教育で教員の交流が盛んに行っている。定期的な情報交換や授業参観等や合同研修会、授業規律のスタンダードを作成し足並みを揃えて授業を行っている。家庭学習ノートを作成し、教化週間と位置づけ、保護者にも協力を呼びかけるなど。

校長や先生が入替わる度に学校の方針が変わらないよう、教育委員会が全校に横串をさし、成果が出た取り組みを集約した**柏原版の学力向上モデルの構築**を。そのモデルを全校区で共有し、実践を。

ごあいさつ
いよいよ平成最後の元号の年となり、新しい時代の幕開けです。柏原市にとっても良き一年となりますよう、私もますます精進してまいります。私事ですが、昨年から髪の毛を伸ばしています。ヘアドネーションといつて髪を寄付することです。一人の子にウィッグを贈るのに、20人〜30人分の31cm以上の長さの髪の毛が必要で、ウィッグを待ち望んでいる子供たちが大勢いるそうです。これなら私にも出来ると思います。現在伸ばし中ですので、成就しましたらご報告させていただきますので、宜しくお願いいたします。

総合計画 ブレない市政運営を

市長の市政運営方針との関係性は？

市→総合計画は最上位の長期的な計画（10年）、市政運営方針は短期的な計画（1〜3年の実施計画）、方向性や内容は合致しており、整合性を確認しながら進めていく。

市長の望む「市政運営方針」があって「こうした施策をしたい」から「総合計画」のこの部分に当てはめよう、という考え方は逆で、まず10年後の未来を描く「総合計画の基本構想」を満たすためには「こういった施策が必要だ」という考え方があり、「今年の市政はこう運営しなければならない」というベクトルで政策決定がなされなければならない。**市長や議員が選挙で入れ替わっても、市民と行政との約束事は変わらない大切なもの**。常に10年単位の総合計画に立ち返り、施策と照らし合わせてブレることのない市政運営を。

生産緑地法の改正による影響は？



YouTube

12月議会個人質問

《都市農地の2022年問題》
平成4年に三大都市圏の特定市における生産緑地の指定が開始され、26年以上が経過した。指定後30年経過により、生産緑地の買取申出が可能になる。生産緑地の所有者が一斉に買取申出を行うと急速な宅地化など農地保全に支障が出ることを2022年問題という。



生産緑地のまま→農地保全
買取申出→宅地化

特定生産緑地制度の創設
指定から30年経過した生産緑地は「特定生産緑地」として10年経過ごとに延長できる

- ⇒ 営農を継続 → 特定生産緑地の指定
- ⇒ 買取申出

問題点
農地の宅地化が進めば古い家が空家として残る可能性がある上に、少子高齢社会で空家は自然増となる。今後、ますます空家が増えることになる。



出生率が低い現在、人口流入、移住、定住施策が必要
子育て世代にも高齢者にも緑地公園や市民農園を作ることは意味がある

国は都市農業を重要な産業と位置づけ、H28.5「都市農業振興基本計画」を閣議決定し、都市農地は**宅地化すべきもの**から都市に**あるべきもの**とし、計画的に保全を図ろうとしている

提案 市民農園

柏原市都市公園条例に定める公園緑地面積は標準を満たしていない。山があるからと言って都市公園が御座なりにされている現状がある。都市緑地法が改正され市民緑地制度も創設された。にぎわいの創出にもなる。

提案 緑地公園、都市公園

今回新たに条例が制定されて生産緑地地区の一律500㎡の面積要件が300㎡に引き下げられた。また直売所や農家レストランの経営誘致なども可能となった。農地を貸して農業ができる場とするなど有効活用を。

養育費は子どもの権利



問題点

柏原市で、離婚時に取り決めをした養育費を実際に受け取っている世帯は、児童扶養手当受給者のわずか14%である。つまり、個別の事情があるとはいえ、86%の世帯の子どもが養育費を受け取っていないことが問題。



子どもが権利として養育費を受け取れるような対策を。
・養育費の受け取り率の目標を設定する
・公正証書の作成など具体的な説明

子育て支援

子育て世代が増えて人口数がV字回復している明石市では離婚前講座や面会交流、また**養育費の立替支援**も始めた。養育費の不払いが生じた時は、保証会社が養育費分を立替で支払い、別居親に対し立替分を督促して回収するというもの。**本気の子ども支援施策**に取り組んでいる。

ICT教育環境の整備を



問題点

平成31年度学力テストの英語「話すこと」に対応するためにはWindows7以上の端末が必要となるが、市内の学校にはサポートが切れたWindowsXPのままで、インターネットにつなげることができない現状。今後も何か対策を講じなければ、OSの更新の度に壊れていなくてもPC端末が使用出来なくなることが問題。

学力テストの対応および今後のICT整備はどうするのか。
①→現状のままでは調査を実施するのは難しい。31年度から各学校のパソコン端末の入れ替えをし、順次整備していく。



OSの更新時期に慌てて対応するのではなく、**即時に一挙に**更新できるように今から準備を。これは教育問題ではなく、ICT整備の**予算の平準化**の問題である。予算を構築する市長部局が子どものたちの教育のために、責任をもって対応を。

市政のお知らせなど

学校にエアコン設置

昨年の夏は大変暑く、教室内の気温はかなり上がっている状況で、何人もの保護者の方からエアコン設置の要望をお聞きしていました。熱中症対策として、市議会内でも多くの議員が訴えていました。

私は、平成28年6月議会で「空調を整備することで学習意欲を高めたり、夏休みを短縮することで授業時間を確保する方が学力向上に直結する」と議会で発言してきました。熱中症対策はもちろんのこと、学力向上というなら、まずは大人の責任として**勉強する環境づくり**をすべきであると考えています。

そして30年度の国会補正予算が通り、工事が1年前倒しされ、31年度には全小学校に設置されることになりました。使用できるのは32年度からとなりますが、ようやく設置されることになり感無量です。

堅下駅・法善寺駅に地上改札

バリアフリー計画で両駅にエレベーター設置について検討されましたが、利便性などを考慮して既存の地下改札を上下行きそれぞれ地上に移動する素案が計画されています。市民の方から、既存の車いす用スロープは通行するときに道が悪くて危険、というご意見を聞いて、私は直接近鉄に交渉しておりましたが、今後計画に沿って新たにスロープも整備されるそうで安心しました。

平成29年12月議会では落下防止のためホームドア設置を要望していますが、併せて早期完成が期待されます。

堅下北スポーツ広場

今年3月完成予定の堅下北スポーツ広場の工事が着々と進められています。9月議会で市民に負担(施設利用料の値上げ、敬老事業の廃止、補助金見直し)をかけるだけでなく、公共施設のマネジメントにおいて運営にかかる経費を利用料など収入面で少しでも稼ぐため、営利目的での利用に対する規制緩和を要望しました。

大泉本郷線 (JR アンダーパス)

平成32年度末の完成に向けて、現在工事が進められています。30年9月議会では、主要な市内東西道路として当初計画されていた計画道路大泉本郷線の今後の延伸についても訴え要望しています。**道路がまちの活性化につながる**と考え、私は道路行政について訴えています。

放課後児童会

平成28年9月議会で保育時間の延長について、**働く親にとっての必要性**を訴えており、議会においても29年2月議会で時間延長要望の決議書を議決しています。早期の実現が待たれます。

かしわら認定こども園

1月号の広報にも掲載されている通り、柏原西幼稚園と柏原保育所を再編統合し、平成33年4月の開園に向けて整備が進められています。ようやく公立で0歳児も保育できるようになります。

6月議会では**保育士不足**解消のため、働き方を見直し、働きやすい環境づくりを訴えています。



市制60周年
かしわら花火

幼い頃は親に手をひかれ、若い頃は好きな人と手をつなぎ、親になって我が子の手をひき、年老いた親の手を支え、そんな柏原市がずっと続きますように。
柏原市議会議員
山口由華

後援会会員を募集しています ウェブサイト・電話・FAX・メールで随時受付中!
一緒に政策を考える「柏原力UPの会」の会員を募集しています

山口由華後援会

〒582-0005 柏原市法善寺 2-3-23
tel. 072-921-7430 fax. 072-926-5077

Web サイト
http://yamaguchiyuka.com
Eメール
info@yamaguchiyuka.com